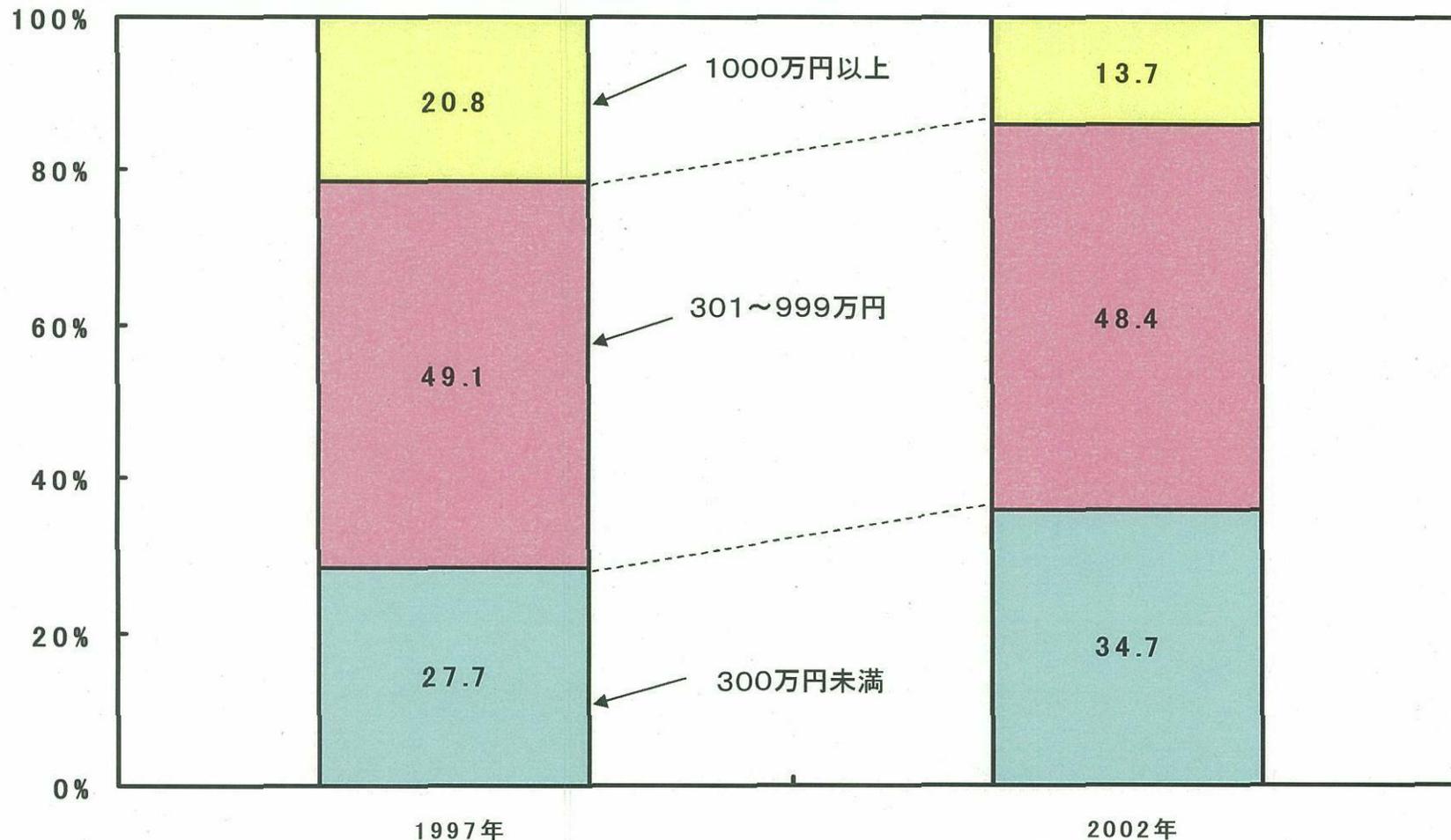


ニート状態の者の属する世帯の収入別割合

ニート状態の者の属する世帯の所得をみると、1997年から2002年にかけて、世帯収入1,000万円以上の割合は減少する一方、世帯収入300万円未満の割合は増加している。



(資料出所)内閣府「青少年の就労に関する研究調査」(平成17年7月発表)

本データは、当該研究調査において、1997年及び2002年に実施された「就業構造基本調査」のデータを特別集計したものである。